

地球温暖化対策計画書

1 地球温暖化対策事業者の概要

地球温暖化対策事業者 （届出者）の名称	中部テレコミュニケーション株式会社
地球温暖化対策事業者 （届出者）の住所	名古屋市中区錦一丁目10番1号
工場等の名称	c t c 栄ビル
工場等の所在地	名古屋市中区栄五丁目3番26号
業種	情報通信業
業務部門における 建築物の主たる用途	その他
建築物の所有形態	
事業の概要	電気通信業
計画期間	令和4年4月1日 ～ 令和7年3月31日

2 地球温暖化対策計画書の公表方法等

公表期間	令和4年9月16日 ～ 令和7年3月31日		
公表方法	○	掲示 閲覧	(場所) 栄ビル1階 エレベーターホール
		ホームページ	(HPアドレス)
		冊子	(冊子名・ 入手方法)
		その他	(その他詳細)
公表に係る問合せ先	連絡先に同じ		

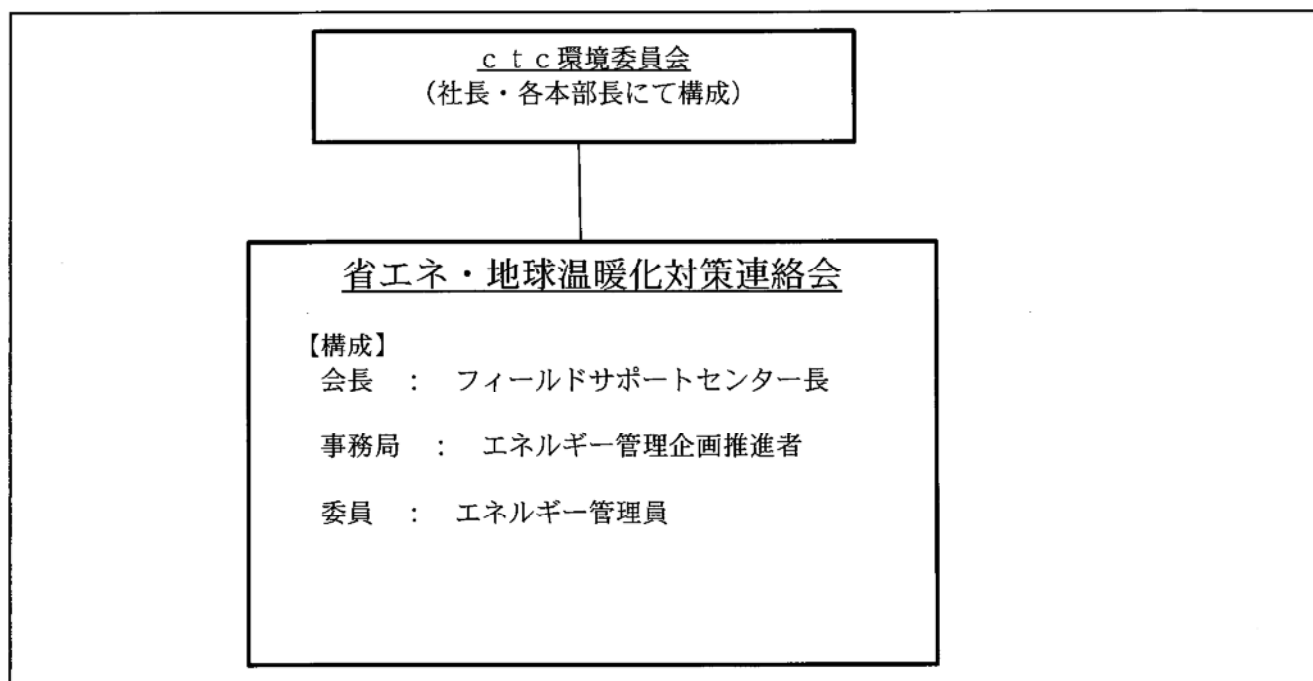
3 地球温暖化対策の推進に関する方針及び推進体制

(1) 地球温暖化対策の推進に関する方針

地球温暖化対策をはじめとする環境保全の重要性を認識し、事業活動のあらゆる分野を通じて、持続的発展が可能な社会の実現に貢献します。

- ① 環境施設の持続的な改善を図ります。
- ② 省資源・省エネルギーの活動を推進します。（再生可能エネルギーを積極的に取り入れます）
- ③ 廃棄物の発生を抑制し、リサイクルを推進します。
- ④ 従業員への環境教育をすすめ、社外に対しては環境情報の公開を進めます。

(2) 地球温暖化対策の推進体制



指針第1号様式

4 温室効果ガスの排出の状況

基準年度（令和 3 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		5,092	t-CO ₂
①を （温室効果ガス 除く炭素換算） 排出量	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）	5,092	t-CO ₂

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	原単位排出量
------------------	--------

項 目	基準年度 令和 3 年度 排出量（実績）		目標年度 目標排出量		令和 6 年度 目標削減率	
温室効果ガス 総 排 出 量		t-CO ₂		t-CO ₂		%

項 目	基準年度 令和 3 年度 排出量（実績）		目標年度 目標排出量		令和 6 年度 目標削減率	
原単位あたりの 排 出 量	5.998	t-CO ₂	5.638	t-CO ₂	6.0	%

（2）目標設定の考え方

設備更改は効率的かつ省エネ（グリーン購入法等）を意識した設備を選定し、再生可能エネルギーの購入についても積極的に取り入れる。
--

- 備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。
- 備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。
- 備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。

指針第1号様式

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標
省エネルギー・省資源の行動の実践 通信機器	①休廃止設備の早期通電カット ②省エネ機器へのリプレイス	電気使用量で -2%
省エネルギー・省資源の行動の実践 冷暖房	①建物改修にあわせた省エネ型空調機への更新 ②機器発熱量に合わせた機械室の冷房運転 ③チャレンジ25で取組む事務所冷房運転温度の厳守	電気使用量で -1%
省エネルギー・省資源の行動の実践 照明	①建物改修にあわせたHf蛍光灯への取替え ②不要な照明の消灯	電気使用量で -0.5%
省エネルギー・省資源の行動の実践 OA機器	①不使用時の電源OFF(EMS環境項目) ②コピー機の節電モードの活用と退社時の電源OFF	電気使用量で -0.5%
省エネルギー・省資源の行動の実践 上水道	①空調機ドレット水量・噴霧時間・頻度等の見直し ②水冷式空調機の更改	水道使用量で -0.5%
省エネルギー・省資源の行動の実践 電気	再生可能エネルギーの導入	CO2排出量で -1.5%

指針第1号様式

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用

ア これまでに実施している再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）

イ 計画期間における再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用

--

(3) 環境価値（クレジット等）の活用

--

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置

チャレンジキャンペーン活動への社内取り組み ①テレワーク勤務の推奨（50%） ②夏季軽装運動 6/1～9/30 ③節水活動（水使用量の削減運動） ④節電活動（不要な照明の消灯・ＯＡ機器不使用時の電源ＯＦＦ等） その他
--

(5) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組

--